

社会学演習Ⅲ

科目ナンバリング SEM-401
必修 2単位

潮田 道夫

1. 授業の概要(ねらい)

「グローバリゼーション」というフレームから現代を幅広く考察する。中国の台頭は続くのか?日本は衰退し続けるのか?これは日本だけでなく世界の硬派ジャーナリズムが追究し続けている問題である。広範な文献、記事、論説、映像を参照し最前線の動きを学ぶ。一定の理解が得られた段階で、われわれはグローバリゼーションにどう立ち向かっていけばよいのか、グループで検討する。

2. 授業の到達目標

グローバリゼーションには功罪の両面があることを学び、グローバリゼーションに立ち向かうための基礎力を獲得する。

3. 成績評価の方法および基準

平常の授業での発表・レポートを総合評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

授業中に紹介する。

5. 準備学修の内容

授業中に紹介する。

6. その他履修上の注意事項

演習への積極参加が α であり ω である。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション、発表の分担など。
- 【第2回】 今そこにあるグローバリゼーション
- 【第3回】 国際金融
- 【第4回】 国際競争力
- 【第5回】 成長の終焉
- 【第6回】 円安・円高
- 【第7回】 資源問題①石油危機
- 【第8回】 資源問題②水
- 【第9回】 地域覇権
- 【第10回】 アラブの春とテロリズム
- 【第11回】 資源問題③シェール革命
- 【第12回】 欧州のグローバリゼーション
- 【第13回】 核問題
- 【第14回】 国際金融危機
- 【第15回】 まとめ